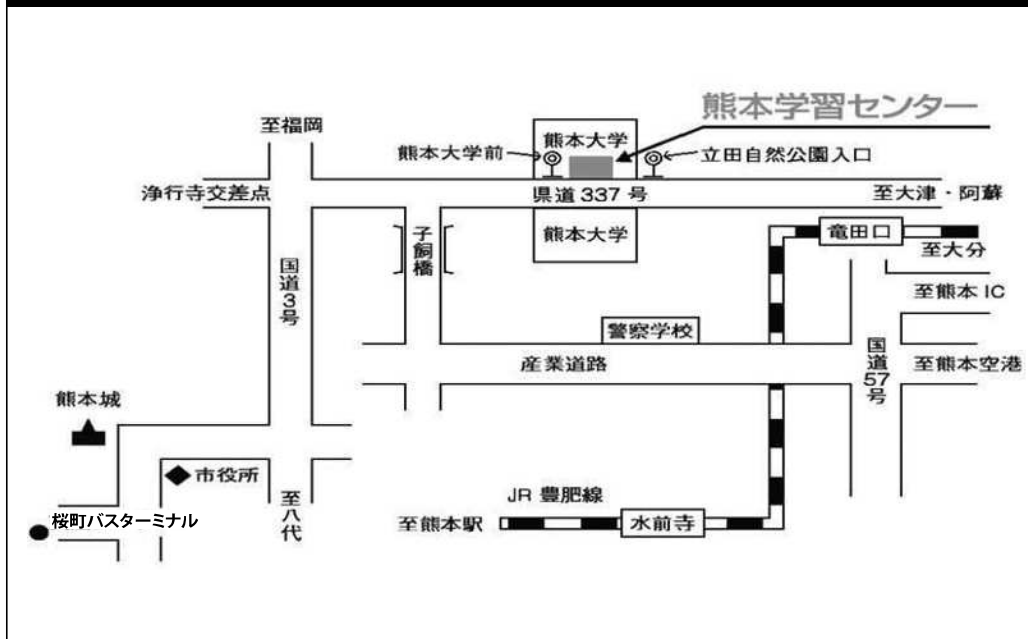


熊本学習センター

(コード：43A)

熊本学習センター案内図

☎096-341-0860



熊
本

【所在地】〒860-8555 熊本市中央区黒髪2-40-1(熊本大学附属図書館南棟2F)

【交通アクセス】

路線等は変更する場合がございますので、各社ウェブサイトを必ずご確認ください。

- (1) JR熊本駅→九州産交バス等: 2番乗り場 楠団地、武蔵ヶ丘行き等 約30分
- (2) 桜町バスターミナル→九州産交バス等: 16番乗り場 楠団地、武蔵ヶ丘行き等 約20分
- 「熊本大学前」または「立田自然公園入口」下車 徒歩2分
- (3) 熊本学習センターに専用駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。
ただし、熊本大学黒髪北キャンパス駐車場を1日1,000円でご利用いただけます。

【その他連絡事項】

- 自然災害等の影響で授業の実施について変更が生じた場合は、熊本学習センターウェブサイトにて、最新情報を掲載いたしますのでご確認ください。
- ホテルの手配や予約状況に関するお問い合わせには対応いたしかねます。各自お早目のご予約をお願いいたします。(熊本学習センターウェブサイトにて近隣情報を掲載していますのでそちらを参考にしてください。)
- 昼食は各自でご用意ください。学習センターの近辺には熊本大学黒髪北キャンパス学生食堂(日曜定休、その他臨時休業あり)の他、近隣にコンビニエンスストアもございます。
- 講義中は学生証を携帯してください。

科目コード	2678365	【授業内容】 現代の私たちの便利な生活はコンピュータ技術なくして成立しません。ネットショッピングやさまざまな手続き、電子決済、自動運転など、コンピュータ技術が適応される範囲は年々拡大しており、モノのインターネット（IoT: Internet of Things）の実現を目指して試行錯誤が行われています。この授業では、コンピュータや通信ネットワーク、メディア、SNS（Social Networking Service）といった近年登場した技術によって私たちの生活がどのように変化しようとしているのか考えます。 【到達目標】 私たちの生活に影響を与え、欠かすことができなくなったコンピュータによる技術変革に気づき、授業で提示する課題を通して自分の生活をどのように変化させたのか、自分の言葉でまとめることが目標である。そして、技術変革によりもたらされる今後の生活について自分なりの考えを持ち、生活の中で継続して学習を進める意識につなげる。 【授業テーマ】 第1回 技術改革もたらされるコト 第2回 コンピュータ技術の移り変わり 第3回 通信技術の移り変わり 第4回 ネットワークサービスの変遷 第5回 実世界と仮想世界 第6回 モノによるサービスの例 第7回 これからの技術と付き合い方 第8回 まとめ 【学生へのメッセージ】 スマートフォンや自動車、SNSなどの例を見ながら考えます。よりよい理解のためには基本的なコンピュータやネットワークの知識が既にあることが望ましいですが、積極的に自ら学びたい方の受講も期待します。 【受講前の準備学習等】 自分のふだん行う業務において、どのような情報があると業務効率を高めるのか、業務効率を判断する指標となる情報は何かを明らかにし、自分なりに説明してください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 成績とは無関係ですが、希望者に対し無線LANサービスを提供し、お手持ちのスマートフォン・タブレットで教材を閲覧できる環境を提供しますので、希望される方は端末をお持ちください。設定や操作は各自でやって頂きますので、あらかじめご了承ください。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 ・身近なネットワークサービス（改訂版）（葉田善章／放送大学教育振興会／¥3,520／ISBN=9784595322181） 放送大学印刷教材 ・コンピュータ通信概論（改訂版）（葉田善章／放送大学教育振興会／¥4,070／ISBN=9784595324802） 放送大学印刷教材 ・生活を支えるコンピュータ技術（葉田善章／放送大学教育振興会／¥3,630／ISBN=9784595325281） 放送大学印刷教材
学習センター(コード)	43A	
クラスコード	K	
科目名	技術変革と私たちの生活	
科目区分	専門科目：情報	
ナンバリング	320	
定員	30名	
担当講師	ハダ ヨシアキ 葉田 善章 放送大学准教授	
日程実施時間	10月25日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 10月26日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10	
実施会場	熊本学習センター 大講義室	

科目コード	2678314	授業概要	【授業内容】 災害時の支援のひとつに心理的支援があります。近年の東日本大震災や熊本地震、能登半島地震などを通し実際の心理的支援について概観します。心理的支援の基本となるサイコロジカル・ファーストエイドの紹介のほか、災害時の被災者の心理状態、時系列の心理的変化、災害の現場でどんな支援を行うのか、被災地の状況を理解し地域社会と協働することなど説明します。また、支援に入る準備や支援者の心理的ケアについても触れます。ここでは講義に加え、グループワークで話し合いを行いながら、それぞれの理解を深めていく予定です。 【到達目標】 災害時の心理的支援として用いられるサイコロジカル・ファーストエイドの目的と内容、使用方法を説明できるようになる。 災害時の被災者や支援者の心理について理解し、心理的支援の内容や支援体制を概説できるようになる。 災害支援を行うために準備することや心構え、セルフケアの重要性を説明できるようになる。 【授業テーマ】 第1回 災害とは何か 第2回 災害時の心理的支援① アセスメントと支援体制 第3回 災害時の心理的支援② 心ころと身体 第4回 災害時の心理的支援③ 支援の実際 第5回 被災時の心理的支援① 発災からの支援体制構築まで 第6回 被災時の心理的支援② さまざまな対応 第7回 支援者の心理 第8回 まとめ 【学生へのメッセージ】 さまざまな災害が世界各地で発生しています。2024年も能登半島地震で甚大な被害状況からの始まりでした。ここでは災害支援について、心理学の立場で説明をしています。尚、講義では災害時の写真等資料を使用予定です。人によっては不調を起こす可能性があることをお断りしておきます。 【受講前の準備学習等】 事前にサイコロジカル・ファーストエイドを確認しておいてください。（※ウェブサイトで見ることができます。）また、講義で取り扱う東日本大震災や熊本地震などの災害の情報は被災地県庁などのホームページで確認できますので、参考にしてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【その他（特記事項）】 心理的支援の基本の一つは多様性を理解することです。グループワークや意見のシェアリングを通して人との関わりによって起きてくることを体感することも今回の学習のねらいの一つとしています。
学習センター(コード)	43A		
クラスコード	K		
科目名	災害支援の心理学		
科目区分	専門科目：心理と教育		
ナンバリング	320		
定員	30名		
担当講師	コガ カヨコ 古賀 香代子 九州ルーテル学院大学 人文学部教授		
日程実施時間	11月1日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 11月2日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	熊本学習センター 大講義室		

科目コード	2678373	授業概要	【授業内容】 現代宇宙論から石が語る生きた地球の話まで、最先端の地球惑星科学の成果をできるだけ分かりやすくお話しします。雲仙火山の平成噴火や、日本（九州）で発見されたヒスイとダイヤモンドの話など、トピックスも加えて、我々が暮らしているこの地球の営みを理解していただき、この宇宙の不思議について考えます。 【到達目標】 宇宙と地球の成り立ちについて、現在までの学説を理解し、その概要を説明することができる。 【授業テーマ】 第1回 われわれはどこにいるのかー銀河系の中の地球 第2回 生きている地球1ー地球の形成と進化 第3回 生きている地球2ープレートテクトニクス 第4回 マグマと火山1ーマグマの結晶作用 第5回 マグマと火山2ー火山の脅威と恩恵 第6回 変成作用のダイナミクス1ー生まれ変わる石たち 第7回 変成作用のダイナミクス2ー超高压変成作用 第8回 宇宙の始まりと終わり 【学生へのメッセージ】 宇宙や地球、鉱物や岩石、そして火山などに対する知的好奇心をお持ちであれば、楽しく聴いていただけるように努力します。大学教養程度のレベルですが、一部にやや難しいところもあるかもしれません。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断し、関連するテレビの科学番組やニュースを視聴する、あるいは参考書を事前に読むなど、自己学習に努めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 ・新しい地球惑星科学（西山忠男、吉田茂生／培風館／¥3,388／ISBN=9784563025229） ・熊本地震の痕跡からの学び（熊本大学くまもと水循環・減災研究教育センター減災型社会システム部門／熊日出版／¥1,980／ISBN=9784908313844）
学習センター(コード)	43A		
クラスコード	K		
科目名	宇宙と地球と石ころの不思議		
科目区分	専門科目：自然と環境		
ナンバリング	320		
定員	20名		
担当講師	ニシヤマ タダオ 西山 忠男 熊本大学名誉教授		
日程実施時間	11月1日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 11月2日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	熊本学習センター 講義室1		

科目コード	2669927	授 業 概 要	【授業内容】 近年、国や地方自治体において展開する様々な教育政策を取り上げ、その動向や課題などについて検討します。本講義では義務教育段階を対象として、行財政システムの解説を行い、教育に関わる法律や制度に対する理解を深めながら、こんにちの日本の教育政策・教育行財政においてどのような課題があるのか、その解決のためにどのような取組が必要なのか、あるいは、こうした教育課題をテーマに卒業論文を書くために必要な基本的な考え方などを身に付けることを目指します。 【到達目標】 ・教育政策・行政に関する基本的な事項を理解することができる。 ・教育政策に対する自身の見解を論理的に説明することができる。 【授業テーマ】 第1回 インTRODクシヨン・教育に関する政策・行財政 第2回 現代日本の教育行財政システム：中央教育行財政 第3回 現代日本の教育行財政システム：地方教育行財政 第4回 教員政策－学校における働き方改革① 第5回 教員政策－学校における働き方改革② 第6回 人口減少と学校統廃合政策① 第7回 人口減少と学校統廃合政策② 第8回 総括的講義と質疑応答・意見交換 【学生へのメッセージ】 教育制度や法と聞くと難しそうに見えるかもしれませんが、身近な教育問題とそれに対する国・地方自治体の取組を中心に取上げるように心がけます。また、1日目に教育行財政システムに関する解説を行いますので、これまで教育政策・行財政について学んだことがない方でも理解できるように心がけます。教育や学校を取り巻く諸問題や現状に対する理解を通じて、お住まいの自治体の教育政策や政治・行政に関心を持っていただけるとよいと思います。 【受講前の準備学習等】 お住まいの自治体の教育について教育委員会のWEBサイトなどを予めご覧頂くと理解が深まると思います。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 パソコンやタブレット等をご持参頂くと資料等の閲覧に便利だと思います。(任意) 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 ・教育の行政・政治・経営（青木栄一・川上泰彦編著／放送大学教育振興会／¥3,410／ISBN=9784595323836） ・基礎から学ぶ教育行政学・教育制度論（阿内春生編／昭和堂／¥2,750／ISBN=9784812223123） ・学校の未来をつくる「働き方改革」（小川正人編著／教育開発研究所／¥2,530／ISBN=9784865606003） 【その他（特記事項）】 学内のWi-Fiを利用したい場合は、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」をご参照ください。 学習センターの無線LANに接続したことがない方、登録していない方は、所定の手続を面接授業の実施前日までに行う必要があります。システムWAKABAからオンラインで申請できます。
学習センター(コード)	43A		
クラスコード	K		
科目名	教育政策		
科目区分	専門科目：心理と教育		
ナンバリング	310		
定員	30名		
担当講師	サクライ ナオキ 櫻井 直輝 放送大学准教授		
日程実施時間	12月6日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 12月7日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	熊本学習センター 大講義室		

科目コード	2678330	授 業 概 要	【授業内容】 沿岸域の生物多様性と水産資源の現状を有明海・八代海を中心に解説します。沿岸域は、内陸に比べると気候が温暖で、農業・漁業ともに生産性の高い地域です。しかし、海岸から60km以内の地域に世界人口の4分の3が生活するなど、人間活動の影響が大きいため、資源の枯渇、有害物質の蓄積、生物多様性の低下など、多くの問題が起きています。このような環境の悪化は、特に閉鎖性海域で著しく、国内でも、東京湾・伊勢湾・瀬戸内海・有明海・八代海などで大きな問題となっています。
学習センター(コード)	43A		
クラスコード	K		
科目名	沿岸域の生物多様性と水産資源		
科目区分	専門科目：社会と産業		
ナンバリング	320		
定員	30名		
担当講師	ヘンミ ヤスヒサ 逸見 泰久 熊本大学名誉教授	授 業 概 要	【到達目標】 ・環境や生物多様性に関する情報を断片的ではなく、総合的に把握することができる。 ・環境や生物多様性に関するデータ（特に図表）の意味を正確に理解することができる。 ・正確な情報を元に沿岸域の環境問題や生物多様性が議論できる。
日程実施時間	12月6日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 12月7日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	熊本学習センター 講義室1	授 業 概 要	【授業テーマ】 第1回 生物多様性とは何か 第2回 生物多様性を守るために 第3回 沿岸域の環境－潮間帯を中心に－ 第4回 干潟・転石・岩礁 第5回 沿岸域の生物多様性 第6回 有明海・八代海の環境と生物 第7回 二枚貝の生物学－アサリ・ハマグリを中心に－ 第8回 熊本県の特徴的な生きもの：研究紹介
		授 業 概 要	【学生へのメッセージ】 沿岸域は、距離的には身近な環境ですが、訪れることの少ない環境なのかも知れません。講義では、有明海・八代海を中心に、沿岸域で起きている問題を取り上げ、身近な環境問題と関連させて議論します。
		授 業 概 要	【受講前の準備学習等】 環境問題、生物多様性やSDGsに関する情報は、新聞やWebなどで豊富に得ることができます。シラバスの内容から判断して、関連する内容の自己学習に努めてください。
		授 業 概 要	【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
		授 業 概 要	【教科書】 授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2678284	【授業内容】 比較的平易で楽しく読むことができる英文を教材にして、英語を読む際のポイント等を学習します。とくに、日本人の学習者がつまづくことが多い文法事項や構文等に焦点を当て、楽しく、そして、正しく英語を読む力の養成を目指します。 必要に応じて、文法事項の復習を行いながら、辞書があれば、ある程度、独力でも英文が読めるようになることを目標に、できるだけたくさんの英語に触れましょう。 【到達目標】 辞書の正しい使い方と英文を読む際に重要となる文法事項や構文を学修することにより、辞書を使いながら、比較的平易な英文であれば自分で正しく読むことができるようになる。 【授業テーマ】 第1回 辞書は読み物。辞書に詰め込まれた（膨大な）情報の意味や活用の仕方を確認します 第2回 辞書を使って、英語と日本語の特徴の違いを確認しましょう 第3回 英語を読む際に、つまづくポイントを確認しましょう（その1） 第4回 英語を読む際に、つまづくポイントを確認しましょう（その2） 第5回 つまづかないで英語を読めるか確認しましょう 第6回 いろんな英語にチャレンジしましょう（その1） 第7回 いろんな英語にチャレンジしましょう（その2） 第8回 まとめ 【学生へのメッセージ】 英語が得意である必要はありません。できるだけ、分かりやすく授業を進めるよう心がけますが、分からないことや確認したいことがあれば、積極的にご質問ください。 教材プリントの大きめの文字サイズをご希望の方は、事務室にご相談ください。 【受講前の準備学習等】 授業で辞書を最大限有効に活用するコツを身に付けるためにも、何はともあれ、辞書を使って英語を読んでみてください。どんな英語でも結構です。 授業で質問できるように、自分なりに理解している文法事項とそうではない文法事項を確認しておきましょう。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。レポートは、授業で学んだことが身についていれば問題なく対応可能な内容を予定しています。 【受講者が当日用意するもの】 授業当日は、英和辞書をご持参ください。紙の辞書でも電子辞書でも結構です。最新版である必要はありません。どの出版社でも結構ですが、新たに購入される場合は、『ジーニアス英和辞典』や『ライトハウス英和辞典』などがお勧めです。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 ・表現のための実践ロイヤル英文法（綿貫陽、マーク・ピーターセン／旺文社／¥1,980／ISBN=9784010312971） 購入は必須ではありません。あくまでも「参考」書という位置付けです。 【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。
学習センター(コード)	43A	
クラスコード	K	
科目名	英語を楽しく読む	
科目区分	基盤科目：外国語	
ナンバリング	120	
定員	20名	
担当講師	サイトウ ヤスシ 齋藤 靖 熊本大学 大学教育統括管理運営機構教授	
日程実施時間	12月13日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 12月20日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10	
実施会場	熊本学習センター 講義室1	

科目コード	2678357	授 業 概 要	【授業内容】 日本の「江戸時代」において200年間以上にわたって継続した平和状態（「天下泰平」）は、世界史的にみても稀有な現象であり、この間、日本の社会は経済や文化・思想の面で大きな発展をみたことが知られています。しかし、その時代の直前の「戦国時代」までは、あたかも戦乱が日常ともいべき社会状況でした。 ほぼ西暦1600年頃を境とした「戦国から平和へ」という日本歴史の大転換は如何にして可能となったか、従来の学説（教科書）を批判しながら、その理由を戦国時代の側から考察し、理解していこうと思います。
学習センター(コード)	43A		
クラスコード	K		
科目名	戦国時代論		
科目区分	専門科目：人間と文化		
ナンバリング	320		
定員	54名		
担当講師	イナバ ツグハル 稲葉 継陽 熊本大学 永青文庫研究センター教授		
日程実施時間	12月20日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 12月21日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10	授 業 概 要	【到達目標】 「天下泰平」が実現された歴史的条件について、日本近世史研究の通説を批判的に検討する観点に立って、仮説を示すことができるようになる。 【授業テーマ】 第1回 戦国時代の社会とは 第2回 内戦の中世 戦国時代の三つの戦争 第3回 内戦から泰平への転換をどう捉えるか 第4回 戦場の社会史 第5回 平和状態と領域秩序の創出 第6回 戦場の村々の営み 第7回 「豊臣平和令」と「天下泰平」 第8回 「天下泰平」を支えた力 【学生へのメッセージ】 この授業を通じて、日本社会の歴史の世界史における特殊性、それを踏まえた平和主義の未来への可能性について考えてほしいと思います。 【受講前の準備学習等】 参考図書にあげた書物に目を通してきてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
実施会場	熊本学習センター 大講義室		【受講者が当日用意するもの】 筆記用具等通常の受講準備をしてきてください。 授業はその都度配布するプリント等を用いて展開します。 【教科書】 教科書は使用しません。 【参考書】 ・新版 雑兵たちの戦場－中世の傭兵と奴隷狩り（藤木久志／朝日新聞出版／¥1,430／ISBN=9784022598776） ・刀狩り－武器を封印した民衆－（藤木久志／岩波書店／¥1,166／ISBN=9784004309659） ・村と民衆の戦国時代史－藤木久志の歴史学－（稲葉継陽・清水克行編／勉誠出版／¥,3300／ISBN=9784585325222）